

平成20年度 南アルプス市立豊小学校

「学校評価の充実・改善」 についての報告資料

- 1 「学校評価の充実・改善アンケート（後期）」
- 2 「学校自己評価書」
 - ・ 学校内部評価（2学期）
 - ・ 児童へのアンケート集計結果（2学期）
 - ・ 保護者アンケート結果（2学期）
- 3 学校関係者評価書

南アルプス市立豊小学校 学校自己評価書	平成 20 年 12月24日 (金) 作成				
学校長 : 清水 秀幸	記述者職名: 教諭 (教務主任) 小西 一彦				
<p>平成20年度 学校教育目標</p> <p style="text-align: center;">「たくましく 心豊かな子ども」の育成</p> <p style="text-align: center;">「生きる力」「確かな学力」と「豊かな心」を育む教育実現</p> <p>*発達段階に合わせて、学年・学級で具現化する子ども像</p> <p style="text-align: center;">☆ 深く考える子 ☆ 明るく思いやりのある子 ☆ 強くたくましい子ども</p> <p>ゆ … 夢は大きく (ゆめは大きく)</p> <p>た … 逞しく (たくましく)</p> <p>か … 賢く育て豊小の子 (かしこくそだてゆたかのこ)</p> <p>*学校経営の方針</p> <p style="text-align: center;">「今日が楽しく、明日が待たれる学校づくり」</p> <p>① 職員の創意・工夫により、開かれた特色ある学校づくりに努める。</p> <p>② 児童理解を深め、一人ひとりの良さや可能性を生かすように努める。</p> <p>③ 教職員としての資質能力の向上を図り、信頼される教育活動の展開に努める。</p> <p>④ 家庭・地域との連携により、望ましい教育環境づくりに努める。</p>					
<p>1 全体評価</p> <p>職員による自己評価結果は、1, 2学期ともに達成に向けて個々の努力が見られる。項目別に見てみると、1「教育目標」に関しては、共通理解・目標の具現化に対して評価がやや落ちたものの80%以上の達成が見られている。2「学校経営・組織」に関しては、職員会議や校内研究会の運営にやや課題を残したものの、概ね達成していると考えられる。3「学習指導」5「特別活動」6「学校行事」7「生徒指導」9「勤務」11「その他」に関しては、高い水準で目標達成されている。しかし、4「道徳」「8「生活指導」10「PTA・地域社会」に関しては、課題を残していると考えられる。</p>					
<p>2 項目ごとの評価</p>					
<p>まず、評価を4段階に設定したことにより、「そう思う」A・B 「思わない」C・Dの大きな分類で自己評価結果を考察してみる。(以後の項目も同様とする)</p>					
<p>① 項目1「教育目標」</p>					
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">自己評価結果</th> <th style="text-align: center;">改善策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="177 1765 922 2098"> <p>教育目標は、学校経営方針を踏まえているものだという意識は高い。しかし、目標が職員の共通理解や学年経営・学級経営への具現化となると2学期に入り、明確化されていない状況に入りつつある。これは、項目2「学校経営・組織」項目3「学習指導」項目4「道徳」なども項目から見て課題が見られると考えられる。</p> <p>保護者アンケート結果から見ると、目標・方針・特色などがあまり浸透していない状況にあるといえる。(項目1・2)</p> </td> <td data-bbox="922 1765 1474 2098"> <p>共通理解や経営への具現化が職員にとっては、最も大事なこととなる。1学期に比べて、数値が低くなっているのが問題であるだけに、管理職から指針を伝えていくことが大事である。保護者の理解を求めることも必要不可欠なことだけに、本校の方針をわかりやすく伝えていくことも必要だと考えられる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	自己評価結果	改善策	<p>教育目標は、学校経営方針を踏まえているものだという意識は高い。しかし、目標が職員の共通理解や学年経営・学級経営への具現化となると2学期に入り、明確化されていない状況に入りつつある。これは、項目2「学校経営・組織」項目3「学習指導」項目4「道徳」なども項目から見て課題が見られると考えられる。</p> <p>保護者アンケート結果から見ると、目標・方針・特色などがあまり浸透していない状況にあるといえる。(項目1・2)</p>	<p>共通理解や経営への具現化が職員にとっては、最も大事なこととなる。1学期に比べて、数値が低くなっているのが問題であるだけに、管理職から指針を伝えていくことが大事である。保護者の理解を求めることも必要不可欠なことだけに、本校の方針をわかりやすく伝えていくことも必要だと考えられる。</p>	
自己評価結果	改善策				
<p>教育目標は、学校経営方針を踏まえているものだという意識は高い。しかし、目標が職員の共通理解や学年経営・学級経営への具現化となると2学期に入り、明確化されていない状況に入りつつある。これは、項目2「学校経営・組織」項目3「学習指導」項目4「道徳」なども項目から見て課題が見られると考えられる。</p> <p>保護者アンケート結果から見ると、目標・方針・特色などがあまり浸透していない状況にあるといえる。(項目1・2)</p>	<p>共通理解や経営への具現化が職員にとっては、最も大事なこととなる。1学期に比べて、数値が低くなっているのが問題であるだけに、管理職から指針を伝えていくことが大事である。保護者の理解を求めることも必要不可欠なことだけに、本校の方針をわかりやすく伝えていくことも必要だと考えられる。</p>				

② 項目2「学校経営・組織」

自己評価結果	改善策
<p>1・2・3・4・9・11・12に関しては、ほぼ達成されていると考えられる。しかし、校務分掌・職員会議・校内研究会については、達成されていないと感じる方が若干増えているので、進め方や職員の共通理解に課題を残していると考えられる。</p> <p>保護者には、職員対応でいくつかを質問しているが、ほぼ10%以下の数値がでているので、運営に関して努力が認められているのではないかと。</p>	<p>情報管理等については、全体に理解され、協力してもらっているため、今後も共通理解の下で進めていきたい。しかし、会議における意見交換の少なさが心配なだけに、管理職を中心に原因をつかみ、改善し、活性化していきたい。一部の職員の負担増から分掌を中心とした体制を改善していきたい。</p>

③ 項目3「学習指導」

自己評価結果	改善策
<p>どの項目も80%を超える達成率を残している。しかし、個に応じた指導や教材教具などには、不安を持っている現状が垣間見られる。また、評価基準等を明確化した授業にも不安が見られる。</p> <p>児童アンケートの結果からは、概ね学習を理解している状況であり、教師の工夫した指導も効果を生んでいるといえるだろう。(項目4・5・6)しかし、自ら発言したり質問することに関しては、苦手な面を持ち合わせ、表現力に課題を残しているといえる。(項目8・9)</p> <p>読書に関して、約15%の児童が苦手としているようである。この点も見逃せない課題といえる。(項目19)</p> <p>保護者の目からは、我が子が学校を楽しみにしていたり、先生とのコミュニケーションなど学校生活に対して満足している結果が出ているので、この点においても努力が認められているといえるだろう。(項目12・13・14)</p>	<p>職員一人ひとりの努力が実っていると感じます。これからも児童一人ひとり、保護者、地域の声に耳を傾けていってほしい。児童一人ひとりにわかる授業の実践を目標に、教材研究を含めた工夫を続けていってほしい。</p> <p>ただ、表現力に課題があるだけに、校内研究とも関わって、伝えていく力を育てていきたい。</p>

④ 項目4「道徳」

自己評価結果	改善策
<p>どの項目も努力は見られるものの、自信を持って進めることができていないようだ。時数確保については、昨年度かなりの改善が見られたが、今年度も引き続き努力の跡が見られている。</p> <p>保護者アンケート結果を見ると11%が不十分と回答している。家庭でのしつけの重要性も理解しているだけに、保護者側からのニーズは十分あると考えられる。(項目18)</p>	<p>一昨年、授業時数の確保に関して課題を残してしまっただが、昨年より改善されてきている。10月の道徳公開とも関わって、これからも一つ一つの授業を大切にしていきたい。保護者の道徳に関する期待も大きいだけに、子どもの心に伝わる実践を期待したい。</p>

⑤ 項目5「特別活動」

自己評価結果	改善策
<p>どの項目もしっかり達成しているといえる。1学期に比べ、児童とともに工夫された取組が見られたのではないだろうか。 児童アンケート結果では、係活動を中心に意識を持って臨んでいると考えられる。</p>	<p>積極的な取組みが、職員も児童にも見られているだけに、今後も引き続き、取り組んでほしい。</p>

⑥ 項目6「学校行事」

自己評価結果	改善策
<p>1学期に比べ、課題がかなり解消されているという回答が得られている。行事に関しては、職員の協力体制がしっかり取れていたといえるだろう。 保護者アンケートでは、毎年工夫されているとの結果が出ているので、理解は得られていると考えられる。(項目30)</p>	<p>1学期と比べ、職員体制も良くなってきている。その結果、児童にも保護者にも理解されているといえる。大変ではあるが、それぞれ学年の計画と工夫の下でこれまでのように取り組んでほしい。保護者の声も大事なだけに、行事後のアンケートも良く検討し、改善の一つとして大切にしていきたい。</p>

⑦ 項目7「生徒指導」

自己評価結果	改善策
<p>2学期においてはC・Dはほとんどなく、達成されているといえる。生活指導主任・情報主任の素早い対応と教頭の連携で素早い対応が行われているといえる。 児童アンケート結果から状況を見てみると、困ったときに相談する友だちや教師がいないことが気になる。(項目17・18)しかし、学校生活に関しては、楽しく過ごしている結果も出ているので、深刻な悩みは今のところはないようである。(項目1・2・3) 保護者アンケート結果からは、児童同様、困ったときに相談できないとみているようだ。また、いじめに関しても(子供同士のトラブル)かなりの注目が集まっている。(項目21・22)</p>	<p>職員は、生徒指導主任を中心に素早く、児童に対応しているので、これからも不審者・登下校・学校生活等に関して指導をお願いしたい。児童の悩みがあるにも関わらず、相談できないのか、ないので相談の必要がないのかはアンケートからは判断できないが、常に児童の行動・発言・つぶやきに目を向け、適切な指導にあたる努力は心がけたい。</p>

⑧ 項目8「生活指導」

自己評価結果	改善策
<p>全体的に課題を残している項目だといえる。徐々に改善されているとはいえ、取り組み・指導に課題を抱えている。ここでも共通理解の問題が見られる。 児童アンケート結果からは、きまりを守ったり、清掃をしっかり行ったり意識を持って臨んでいるといえる。しかし、約14%の児童が教師の姿勢を指摘しているのが気になる。(項目15)</p>	<p>清掃活動に課題を残しているので、分担・方法・体制を見直し、改善していくことが必要であろう。これからも具体的な課題指摘をしていただき、改善の方向につなげていきたい。</p>

⑨ 項目9「勤務」

自己評価結果	改善策
一部課題もあるようだが、全職員に理解され、スムーズに流れているといえる。	内部評価に日課時刻表の課題が指摘されていたことが気になる。もう一度、課題があるならば、明らかにして来年度につなげていきたい。

⑩ 項目10「PTA・地域社会」

自己評価結果	改善策
<p>保護者や地域住民との連携もまだまだ改善の余地がありそうだ。また、評議員制度や学校評価委員会の実績が不十分であり、取り組みの中で全職員に広げていく必要があるだろう。</p> <p>児童アンケート結果から見てみると、宿題を含めた家庭学習に課題が見られる。(項目10・11) 家の人とのつながりについては、約20%の児童が学校の様子を話していない状況が見られ、不安である。しかし、食教育における朝ごはんについては、80%以上が食べているという結果が出ている。</p> <p>保護者アンケートでは、不十分がほぼ5%以下の結果が出ている。行事に関して、アンケートを毎回取り、改善していることも評価の一因に考えられるが、保護者も学校側との連携を求めていることが十分にわかる結果が出ている。(項目26～30)</p>	<p>行事後のアンケートを読むと、まだまだ課題はあるようだが、職員の努力等で少しずつ改善されつつある。保護者の理解も得ているだけに、これからも小さなことにも耳を傾け、改善策を考えていきたい。保護者も教育に関して相談者がいない状況になりつつあるだけに、一緒に考えていく姿勢を大切に、保護者に理解される、理解する気持ちを持ち続け、素早い対応を心がけたい。</p>

⑪ 項目11「その他」

自己評価結果	改善策
<p>保健・図書・事務とも適切に取り組んでいるし、改善もなされているといえる。</p> <p>健康安全面に関して、保護者もほぼ理解を示している。(項目23～25)</p>	<p>健康安全面に関しては、これからも大事な側面を持つだけに、細かい、実践に立った計画を考えていきたい。保健・図書・事務とも子どもにも重要なつながりを持つだけに、担当者との連携を大切にしていきたい。</p>

3 まとめ

内部評価(1～2学期)・児童アンケート(1～2学期)・保護者アンケート(2学期)の実施に伴い、まとめてみた。1学期に比べ、数値が低下して課題を残している項目、反対に良い方向に改善されている項目等いろいろあるが、全体的には、職員一人ひとりの努力が反映された結果が表れたといえる。課題は、謙虚に受け留め、改善し、評価されている部分についてはさらなる理解を深めてほしい。

これまでの学校評価の中で、いくつか進めていく上での課題も明らかになってきた。

①児童・保護者アンケートの質問事項は適正であるか。

②児童アンケート結果をどのように学年で生かしていくのか。

③学校外部評価書を含めて、どのように職員に提示し、改善を図っていくのか。

以上の3点については、もう一度よく検討し、来年度につなげられるようにしていきたい。